

秋物農機展示会

8月26日(月)から30日(金)にかけて、追分農機センターと雄和農機センターで農業機械の展示会が開かれました。JAが自己改革の一環として取り組む「共同購入トラクター」やコンバイン、管理機や農機具の部品など多彩な機械類が並びました。会場には秋作業を控えた多数の生産者の方々が訪れ、農機センターの職員やメーカーの担当者や機械の購入や管理方法について意見を交わしました。実際に草刈機を持つ姿や試乗する様子も多く見られました。



多くの農業機械が並んだ会場

JAバンクあきたアカデミー窓口コンテストで雄和支店が特別賞受賞

9月7日(土)に秋田県社会福祉会館で開かれた「第7回JAバンクあきたアカデミー窓口コンテスト」の窓口セールス部門に、当JAの代表として雄和支店が出場しました。

窓口担当者役の石井璃子職員と上司役の長谷部祐幸副支店長が日頃の業務で培ったスキルを発揮しながら、窓口セールスと事務処理の成果を披露しました。審査の結果、丁寧な窓口対応や事務の正確さが評価され、特別賞を受賞しました。JAはこれからも職員の育成に努め、快適な窓口づくりを進めていきます。



丁寧な窓口対応が評価されました

NEWS & TOPICS

農産物検査員へ辞令を交付

9月12日(木)、JA秋田なまはげ会館で今年度の農産物検査員辞令交付式が行われました。秋の収穫・検査シーズンを目前に、適正検査の徹底に向けて意思統一をしました。

男鹿地区営農センターの佐藤圭太検査員が、「良心に従い適正で確実な検査を行い、農産物の公正かつ円滑な取引や品質の改善に寄与します」と力強く宣誓しました。京極芳郎組合長は検査員を激励し、秋田地区営農センターの熊地聡検査員が辞令を受け取りました。

今年度は44人の検査員が管内で検査に当たっています。



適正検査の徹底を誓いました

美里小学校3年生が梨の収穫を体験

男鹿市立美里小学校の児童が手掛けた梨が、待望の収穫を迎えました。9月12日(木)、男鹿市五里合の藤原梨園で、男鹿市地域おこし協力隊や梨園の方々とともに収穫作業を体験しました。

参加した3年生14名は児童全員で名付けた梨「幸水」の木「令和初しあわせなっしー晴れるくん」に力いっぱい手を伸ばして、令和初の収穫に歓喜の声を上げました。収穫後はその場で梨を味わい、「まだまだ食べた」「収穫作業がいちばん楽しかった」と笑顔を見せていました。



手を伸ばして「幸水」を収穫する児童